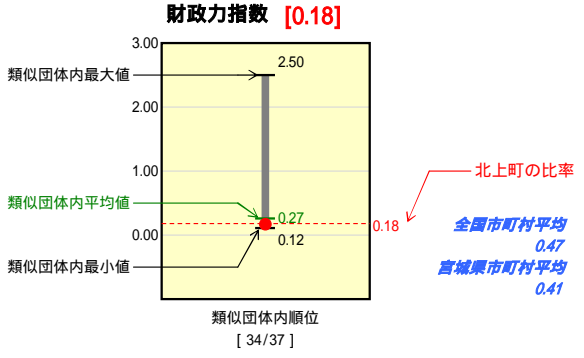


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

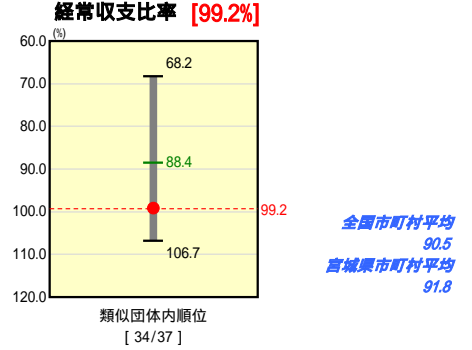
宮城県 北上町

人口	4,328人(H17.3.31現在)
面積	60.98 km ²
歳入総額	3,267,559千円
歳出総額	2,979,887千円
実質収支	287,672千円

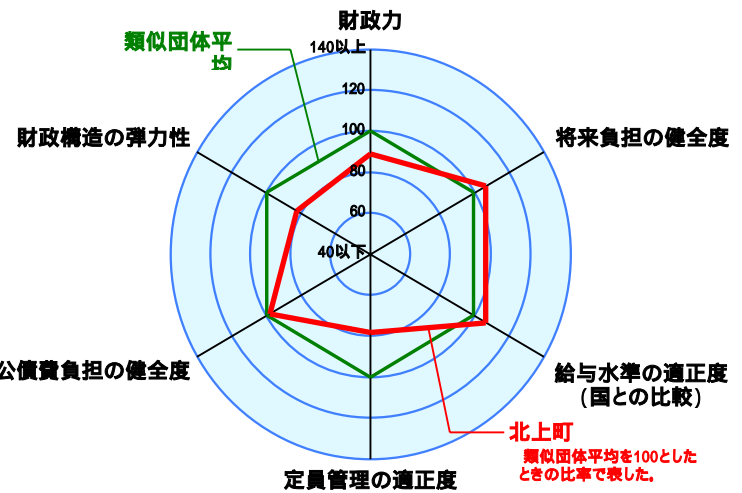
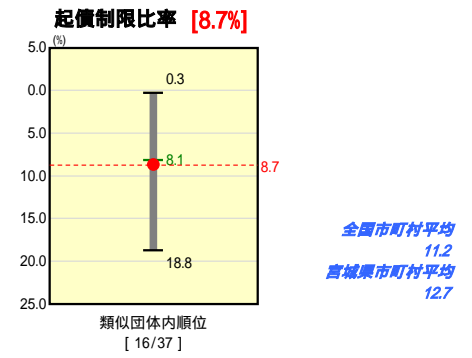
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
組織の見直し(7課体制から2課減の5課体制)や定員管理・手当の見直し等による歳出削減(3年間で2%減)に取り組み財政健全化に努めた。税収関係では、税徴収率の向上への取り組みの成果(管理職等による夜間徴収)により普通税全体で徴収率96%と高い水準となっているが個人・法人が少なく、ここ数年間を見ても大きく変動することなく推移しており0.18と類似団体内の平均を下回っている。

経常収支比率
歳入面では、平成17年4月1日合併(平成3月31日打ち切り決算)による影響や臨時財政対策債の減(68,800千円)、歳出面では、扶助費関係である保育所国庫補助金等の一般財源化による増(41,967千円)や町単独事業で実施している子育て支援金事業の増(42,900千円)と公債費の増(33,160千円)が主な要因となっている。庁舎等の維持管理経費は積極的に集中管理を行い、業務委託等のコスト削減を実施し、義務的経費の削減に努めたが99.2%と全国市町村平均を上回る結果となった。

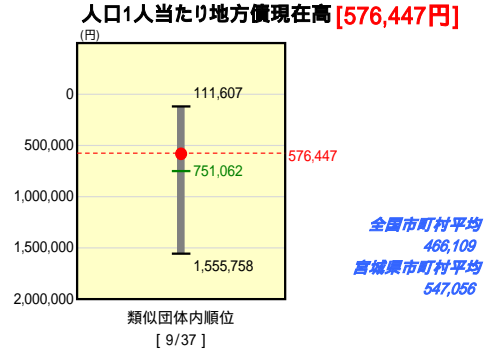
ラスパイレス指数
高齢・高齢者が定年退職、特別昇給等の抑制により、前年より0.8の減となり、90.1と全国市町村平均を下回る結果となった。

起債制限比率
起債制限抑制に取り組んできたが、普通建設事業費に係る起債の償還増に伴い前年度よりやや上昇したが、8.7%と類似団体平均を下回っている。

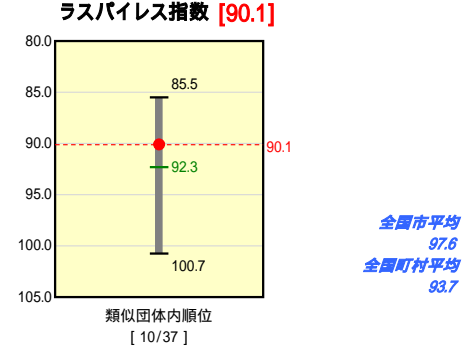
人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を下回っているが、平成16年度から公民館等建設事業に着手し、今後は地方債発行額(580,000千円)が見込まれる。

人口1,000人当たり職員数
産業関係では、第1次産業である農業(水稲・畜産)や水産業などの積極的な施策の展開に人員が必要であった。町が地形的に細長(形成されており保育所(3ヶ所)や小・中学校(5校)などが集落に点在し運営されている。医療関係においては開業医もなく、直営で診療所(2ヶ所)を運営していることが、類似団体と比較して職員数が上回っている要因となっている。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

